

## 完了報告書（平成 22 年度）

提出者 山根実紀

提出年月日 2011 年 5 月 31 日

### 【プロジェクト名】

和文

京都大学非常勤職員のワークライフバランスについてのインタビュー

英文

An interview on the work-life balance of non-regular workers in Kyoto-Univ.

### 【メンバー構成】

研究代表者

幹事 山根実紀

メンバー 青山薫、菊地夏野、小林千夏、村上潔

### 【ねらいと目的】（600 字程度）

本研究のねらいは、現在大学内外で議論されている、非常勤職員の有期上限期間などの労働条件について着目しながら、次の 3 点を明らかにすることであった。(1) 非常勤職員のワークライフバランス、(2) 非常勤職員の、とくに有期雇用契約で働くひとの労働条件が、そのひとの生活環境・生活設計に与える影響、(3) 現在のワークライフバランスについて、非常勤職員がどのように感じているのか。予備的なアンケート調査と一対一・対話形式のインデプスインタビュー調査の実施を通して、非常勤で働くひとたちにとって、生活設計とその働きかたは合致しているのか、齟齬があるとすれば具体的にはどんな支援が必要か考察し、「女性の家計補助的な仕事」の支援ではなく、ジェンダー・年齢・エスニシティ・セクシュアリティなどの括りにとらわれない多様な生きかたの支援ができる制度設計を提案し、開かれた大学づくりに貢献したいということが、本研究の目的である。

### 【活動の記録】

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

2010 年 6～11 月 予備アンケート票作成検討会

主に月 1～2 程度、京都でのミーティングを開催

2010 年 11～12 月 予備アンケート実施準備

2011 年 3 月 27～28 日 北海道大学教職員組合聞き取り調査

調査地：北海道札幌市内

調査者：山根実紀、菊地夏野、小林千夏

調査目的：国立大学では先陣的に非常勤職員への実態調査に取り組んだ北海道大学教職員組合の協力を得て、北海道大学で働く非常勤職員の組合員および当事者へのグループインタビューを実施。北海道大学は、1980 年から非正規職員の雇用について 2 年期限を開始しており、その非常勤職員の労働と生活の実態はどのようなものか、さらに先陣的な実態調査はどのような組合の活動の中で行われたのか、そしてどのような意義があるのか。

**【成果の概要】**（800字程度）

(1) アンケート調査&インタビュー調査

残念ながら、今年度内に、そのすべての目的を達成することはできなかった。アンケートを作成したものの、配布と回収、そしてインタビュー調査まで至らなかったことは、本研究調査の厳しさとともに重要性を示している。しかし、アンケートを作成する経過で議論されたことと、実際に作成したアンケート用紙そのものが、本研究ユニットの2011年度の「成果」であるといえる。非常勤ではたらく人の労働と生活に踏み込んで実態に迫ろうとした。

調査の本格的な実施など、繰り返し吟味した上で、今後の課題としたい。

(2) 北海道大学教職員組合聞き取り調査

次に、本プロジェクトで重要な調査成果としては、北海道大学教職員組合への聞き取りである。北海道大学は、雇用年限が大学内で問題化されるようになった以前、1980年から非正規職員の雇用について2年期限（1999年から3年に緩和）を開始している。その先駆けともいべき北海道大学において、非常勤職員の労働と生活の実態はどのようなものか、実態調査の意義などが示唆的にあらわれた。教職員組合における非正規労働部会に参加する者の働き方、ライフスタイル、働き方への思い、人間関係の特質と雇用期限についての考え方など、現在の労働と生活に多かれ少なかれ規定されている。

また、北海道大学教職員組合が実施した非常勤職員への実態調査の回答がきっかけで、今回のインフォーマントが組合にアクセスしていることが分かり、実態調査の意義を改めて感じた。

**【通信欄】**

なお、北海道大学教職員組合員への聞き取りの文字起こしデータについては、成果報告書に掲載予定であるが、当事者の確認作業が遅れているため、後日データを含めた完成原稿とさせていただきたい。

（研究代表者記入）

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	20(千円)	実績額 20(千円)

■活動写真：

北海道大学教職員組合グループインタビューの様子。手前にインフォーマントの3人、向い側に調査者・山根と小林。菊地が、パソコンで議事録。

